

北川の魚信

2009年12月19日

Vol. 81

こがらし
そろそろ
号

発行 北川かつぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

1~2月までの予定を掲載しました



報告 たっちゃん池が ブラックバスに占領されていることを再認識！

11月28日(土)、狭山公園内の宅部貯水池(通称「たっちゃん池」)の魚類調査を実施しました。去る8月28、29日の第1回目の魚類調査では、池が満水の状態で調査を実施しましたが、今回は水位を約60cm程度下げて調査を実施しました。

当日は、狭山公園の管理をしている西武・狭山丘陵パートナーズから5名、北川かつぱの会から6名、そして投網や魚類調査の達人である4名の方々が応援に駆けつけてくれ、合計15名で調査(捕獲)を行いました。調査(捕獲)は、まず定置網を地引き網のように使って魚を追いつまむ形で実施しましたが、結果は惨憺たるものでした。網が池底の木の枝などに引っかかり(池の底に多数の木の枝が沈んでいた)、はずすのに大きな労力を必要とし、加えて定置

網で魚がまったくとれませんでした。結果として、魚類の捕獲は、投網と手網によって実施することができました。

捕れたオオクチバス（ブラックバス） ▼オオクチバスの胃の内容物はエビ類ばかりについては、前回同様、胃の内容物を確認しましたが、内容物はエビ類がほとんどで、一部にヤゴが見られるような状態でした。（この点についてどう考えればよいのか、今後、専門家の意見も聞いてみたいと考えています）。



捕れた生き物は、エビ類 45尾、トウヨシノボリ9尾、モツゴ2尾、オオクチバス5尾、ヤゴ1、ウシガエル1、オタマジャクシ（ウシガエル）2でした（なお、詳細な調査結果は、12月5日付けの「かっぱブログ」をご覧ください）。労力の割には捕獲物が余りにも少なく、オオクチバス他の魚類をもう少し捕獲したかったというのが本音です。前回8月の調査結果と同様、本来棲んでいるはずの魚が極端に少なく、オオクチバスなど外来種が池を占領しているのではないかと思わせるような結果でした。

これまでの調査結果をふまえれば、「かいぼり」を実施しブラックバス等の外来種を駆除するくらいのことをやらないと死の池になるのではないか、というのが大方の参加者（調査実施者）の感想です。今後、関係する方々と意見交換を行い、緊急に対応策を検討していく必要があると思われます。調査に参加された皆



様、本当にお疲れ様でした。（清水）

※調査結果概要はホームページ参照。



◀投網を打って調査捕獲

狭山公園懇談会

1月9日(土)
 10:00～12:00 公園の見学
 13:30～16:00 意見交換(多摩湖ふれあいセンター)

定例川そうじ

1月9日(土)9:00～11:00
 2月13日(土)9:00～11:00
 集合：北山小正門前

かつぱ定例会・新年会 →P8参照

1月10日(日) 14:00～16:00 定例会
 1月23日(土) 15:00～17:00 臨時定例会
 17:00～新年会

川端会議

2月6日(土)10～12:00;ふるさと歴史館
 北山公園等の保全や利用について話し合います。誰でも参加することができます。

東村山市みどりの楽校「野鳥観察会」

2月14日(日) →P6参照

八国山緑地懇談会

2月21日(日)頃 詳細は決定次第、ブログに掲載予定

北川かつぱの会総会

2月20日(土)または3月6日(土)午後開催する方向で調整中

ブラックバス駆除セミナー

(意見交換会) 3月6日(土)午後

報告 新河岸川流域フォーラムに参加

11月14日(土)東村山市民ステーション「サンパルネ」で、平成21年度の「新河岸川流域フォーラム」が開催されました。

午前中はウォーキング企画で、空堀川ルートと北山公園・八国山ルートに分かれ現地見学が行われました。北川かつぱの会では北山公園や北川、八国山ルートのガイドを行いました。総勢12名でウォーキングを行いました。一時的に雨が強くなったものの、ほとんどの時間帯は曇り空で、ほぼ予定どおりのコースを辿ることができました。特に、魚道や親水広場、白樺の木の下、北山小南側の北川、二つ池では、参加者の方々に流域の現状と課題について十分に理解していただけたのではないかと考えております。午後は東村山駅西口再開発ビル2階のホールで講演や発表が行われました。

北川かつぱの会からは、「北川流域の環境復元の現状と課題」について、スライドの資料を使って15分間の発表を行いました。北川の自然護岸化や魚道の設置、ブラックバス対策、環境学習などの活動を中心に説明しました。



地域の環境団体の発表としては、空堀川に清流を取り戻す会の発表もありました。これらの発表が、新河岸川流域の他の団体の活動内容の充実につながればと思います。(S)

ビンズイ

かつて北川の源流部、狭山公園の多摩湖堰堤下には大きなマツの林がありました。ここには毎年冬になると、セキレイの仲間ビンズイの小群が越冬にやって来ました。しかし、狭山公園のマツ林は、堰堤工事によって大半が消失してしまったので、もうビンズイが来ることはないだろうと思っていました。

ビンズイは、夏は四国以北の主に山地の疎林や草原で繁殖し、高山帯にまで分布しています。姿は地味ですが、繁殖期はヒバリのような良い声で囀るのでよく目立ちます。冬になると暖地の明るいマツ林等の地上で餌を探している小群を見かけ、セキレイの仲間らしく尾を上下に振りながら歩いています。

先日、狭山公園に行った際に、わずかに残るマツの付近からビンズイの声が聞こえた気がしました。しばらく探してみましたが見つからなかったもので、やはりだめかと思いながらも後でもう一度行ってみました。すると今度ははっきりとビンズイの声が。すぐに数羽の群れが見つかりました。6年間も工事をしていたのによく戻って来てくれたものです。ただ、小鳥類は寿命が短いので、今来ているビンズイは世代交代しているかもしれません。それでもまだビンズイが越冬できる環境が残されていたのはうれしいことです。

(ビー永島)

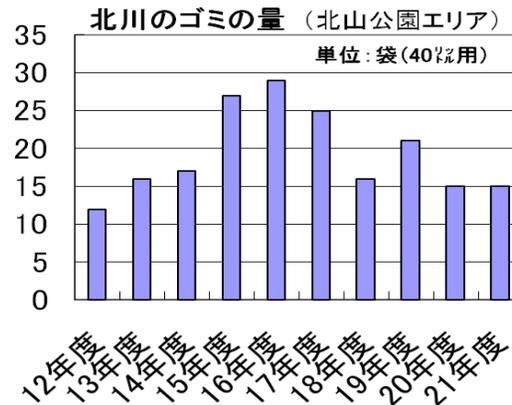


<10月>

私たちの活動は今月から12年目に入りました。この間、北川のゴミの量は平成16年度をピークにその後全般的には減少傾向にあります。この2年程は足踏み状態で、これから向こう一年間の状況で増加に転じるか更に減少するのか気になるところです。特にコーヒーやジュース類の空き缶が増えつつあるのが気掛かりです(下図参照)。

台風18号が過ぎ去り、大雨による増水でドロがすっかり流され、川底は小石や砂が現れ水量も多く、北川はまさに清流そのものです。増水で大量の砂が移動し、場所によってはびっくりするくらい浅くなっていたり、深くなっていたり、コンクリート張りでは有り得ない自然の川底の変化には本当に驚かされます。

ゴミの無くなった北川では、早速、カワセミが水面上でホバリングをしながら水中の小魚を狙っていました。北川には本当に素晴らしい自然があると実感します。



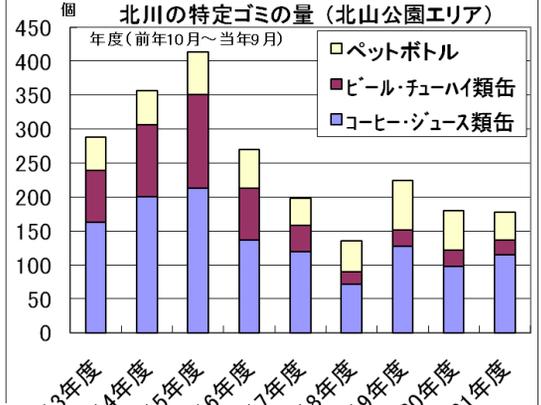
<11月>

今月の第二土曜日は雨でした。これで11月の第二土曜日は4年連続で雨になりました。前日の雨のおかげで、北川は水量が多く川底もきれいで、すっかり清流を取り戻していました。又、善行橋下流では川底が深く抉られ、変化に富んだ流れが形成されつつあるのを実感しました。

頭上では緑の葉っぱに混じり黄色や赤茶色の葉っぱが彩りを添え、北川にも晩秋が訪れて来たようです。水もかなり冷たくなり、小魚もめっきり少なくなりました。だからこそ、大関橋の下で沢山の小魚を目にした時は本当に感激しました。

先月、業者によりコンクリ護岸の草刈りが実施され、カワセミの止まり木がすっかりなくなってしまいました。そこで今日は、小枝を護岸のあちこちにできるだけ挿してあげました。これで又、カワセミもあちこちで羽を休めたり、水中の小魚を狙うことができることでしょう。

(松村)



報告第28回 北川クリーンアップ

10月18日(日)晴天に恵まれ、秋のクリーンアップが実施されました。

3箇所に分かれて行われましたが、相変わらず精心幼稚園近くは参加者も少なく関係者のみでした。アナウンスに問題があるのか、他の原因があるのか、残念です。

今回は数日前に雨が降ったので水量が多く水もきれいで、そこかしこで小魚が気持ちよさそうに泳いでいるのが確認できました。

相変わらず、故意に投げ捨てているごみがありました。粗大ごみは少なかつたように感じました。

北山公園の少し下流の西武線ガード下の堰も雨の降るつど様相を変えており深くなったり、浅くなったりと変化を見せています。北山公園の親水広場前も深場もでき、魚にとっては住みやすい環境になりつつあるようです。

これからも生き物が生息できるように皆さんと水辺を守っていきましょう。

(M・Y)



写真:みどりと環境課 提供



冬はノバード
ウォチングの
季節です!

東村山市みどりの楽校

2/14(日) 「野鳥観察会」

集合: 9:00 西武園駅改札

12:30 北山公園で解散

例年通り八国山緑地・北山公園で冬鳥の観察会が行われます。冬は野鳥が観察しやすく、シメ・ルリビタキ・ジョウビタキ等との出会いが期待できます。かっぱのスタッフ始めガイド役が付きまますので、どなたもお気軽にご参加ください。申込方法は1/15付の市報に掲載予定です。



フィールドスコープを購入しました

かっぱの会の備品として、野鳥観察会のフィールドスコープ(27倍単眼鏡)を購入しました。かっぱの会ではかっぱウォークはもとより、東村山市みどりの楽校や市内小学校の土曜講座等の野鳥観察会に積極的に関わってきましたが、一層の活動強化にフィールドスコープが欠かせないことから、この度の購入となりました。なお、購入原資は全労済助成金、一橋大学エコサークル環兵衛寄付金となっています。

2010年の活動の展望

1月より新年度を迎えるにあたり、当面の重点課題（特に新規事項）についてまとめてみました。2/20または3/6に予定されている総会の場で最終的に決定していく予定ですが、皆様のご意見や提案を歓迎します。

①ブラックバスの防除

→北川のブラックバスの原因となっている狭山公園内「たっちゃん池」と北山公園内「しょうちゃん池」での防除について、「かいぼり」も視野に入れつつ、関係団体と連携しながら対処していきます。

②流域のみどりの保全、北川の水量確保

→これまでの川端会議（市＋市民＋市民団体）への参加に加え、狭山公園や八国山緑地の保全等を目指し、関係の懇談会（東京都主催）に参加して問題の解決を図っていきます。

③情報発信力の強化

→助成金を活用して新規に「環境情報版」の設置や仮称「北川流域の環境を守ろう」ネームプレート、夏まつり告知用の垂れ幕の作製を行います。併せてホームページやブログの内容の充実を目指します。

④環境学習の充実

→助成金を活用しさらに備品の充実を図る他、学習内容の充実を目指します。

⑤活動資金の確保

→引き続き、会費や助成金、寄付金の確保に努力するとともに、経費の節減に努力していきます。

新作ネームプレートに記載するス

ローガン(標語)募集

全労済の助成金を活用して、(仮称)「北川流域の環境を守ろう」ネームプレートを作製することにしました。

ネームプレートは各種のイベント（夏まつりやクリーンアップ、土曜講座など）の時などに使用することを想定しています。ネームプレートはプラスチック製で、かっぱのイラストにスローガン（たとえば、「北川流域の環境を守ろう」）を記載し（ここまで各プレート共通）、さらに会員の名前を入れることにしようと考えています。

ネームプレートに記載するスローガン（例；「北川流域の環境を守ろう」）を募集します。当会のホームページからメールで、または「かっぱブログ」から応募をお願いいたします。スローガン採用者には豪華景品が…？



(ネームプレートイメージ例)



インフォメーション

☆会費納入のお願い

かつぱ通信の印刷、郵送費(会員の他、マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む)など経常的な経費は、会費を基に活動を行なっています(助成金や寄付金は備品の購入などを中心に支出)。最低限の活動を行なっていくためにも、年末までに会費(年間3000円)の振込を切にお願いいたします。今回、09年度の会費未納付の方には「振込用紙」を送付させていただいております(既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください)。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かつぱの会 会議日程

定例会 1月10日(日)

14:00~16:00頃 (MARU 茫々亭) 2010年度の活動方針、ブラックバス対策、仮称「北川の環境を守ろう」ネームプレート等の作製を中心に検討予定。

臨時定例会 1月23日(土)

15~17:00 & 新年会 17:00~

●編集後記

編集のピンチヒッターのはずが今号も編集中です。新河岸川流域フォーラムで、都市河川の急増水対策として雨水浸透升を利用した宅地内処理が重要とのこと。洪水対策はダムよりこっちの方がいいんじゃない。(遊星歯車)

かつぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。●会費 年間3000円。「かつぱ通信」(年5回)をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店(普)

3605694〕

加入者名 北川かつぱの会

かつぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

本誌についての問い合わせ先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>